工事広報



工期：令和8年3月16日～令和8年12月10日

八幡平山系赤倉沢第１砂防堰堤（えんてい）工事

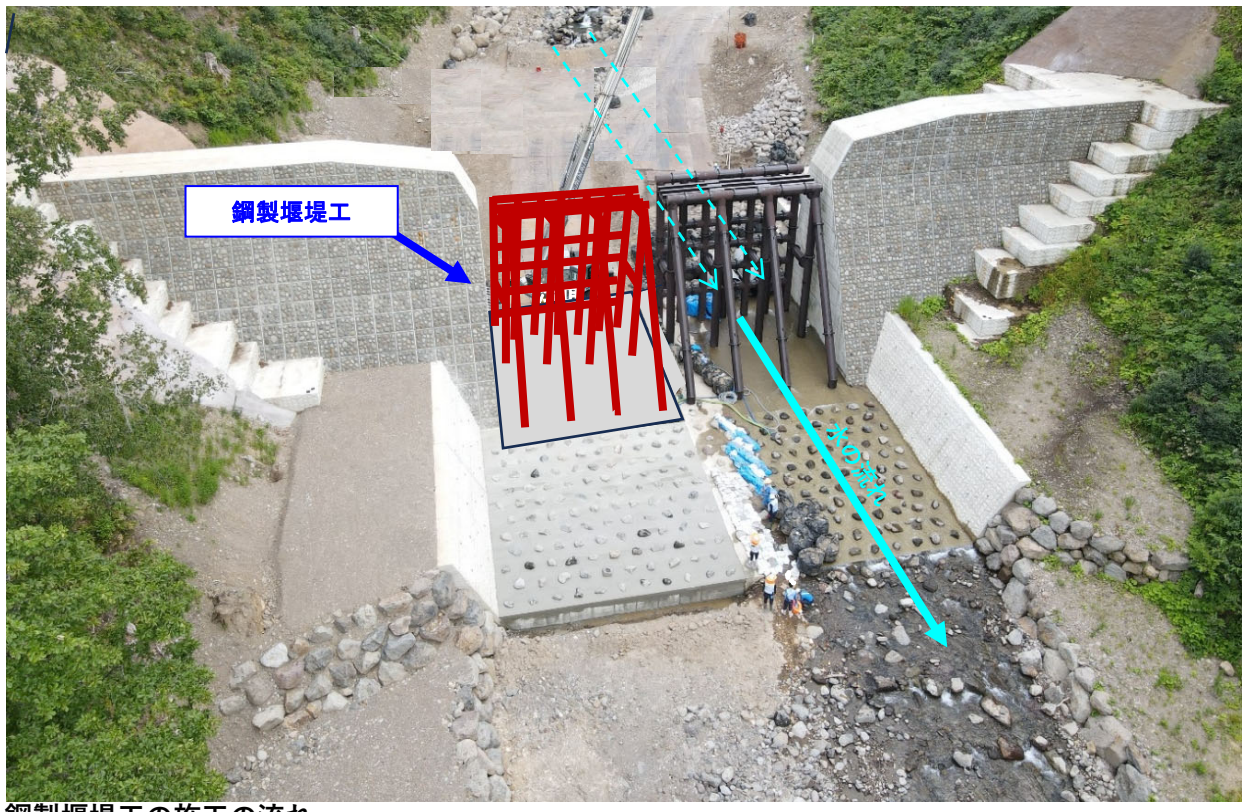
拝啓　清秋の候、貴殿におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
秋冷の折、体調を崩されませんよう健康管理には十分にお気をつけください。

さて10月の赤倉沢第１砂防堰堤工事の予定をお知らせいたします。
・赤倉沢第１砂防堰堤は、先月と同様に鋼製堰堤工の施工になります。（詳細は下記にて）

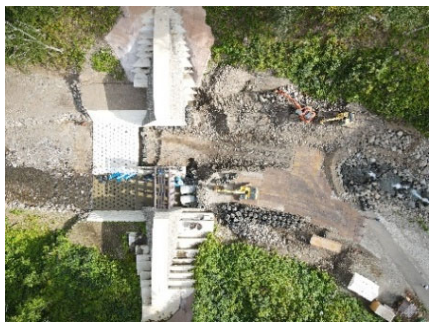
コンクリート打設時にはトラックアジテータ車（生コン運搬車）、残土搬出時には10ｔダンプトラック等の大型車両が県道194号を走行することになります。　皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*工事に関するお問い合わせは下記の連絡先でお願いします。

赤倉沢第１砂防堰堤



8月末空撮



9月末空撮

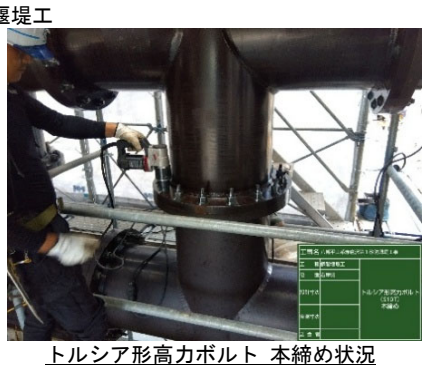


9月に実施した作業写真

鋼製堰堤工



底版ｺﾝｸﾘｰﾄ（1次施工） 打設状況



トルシア形高力ボルト 本締め状況

鋼製堰堤工の施工の流れ

9月➡



①床掘り



②床均し

(1次施工)



③鉄筋組立



④型枠組立



⑤CON打設



⑥CON養生



⑦足場組立
⑧スリット組立

10月➡



⑨現場塗装



⑩足場解体



⑪鉄筋組立

(2次施工)

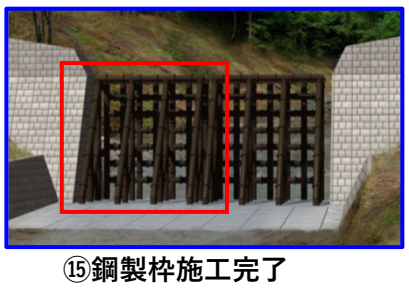


⑫型枠組立



⑬CON打設

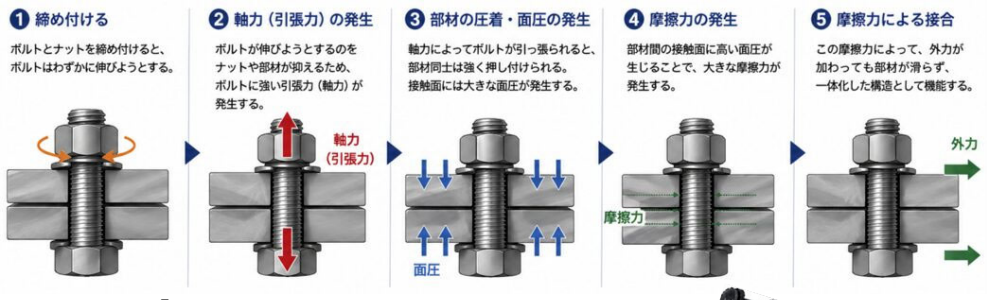
⑭CON養生
(必要に応じて)



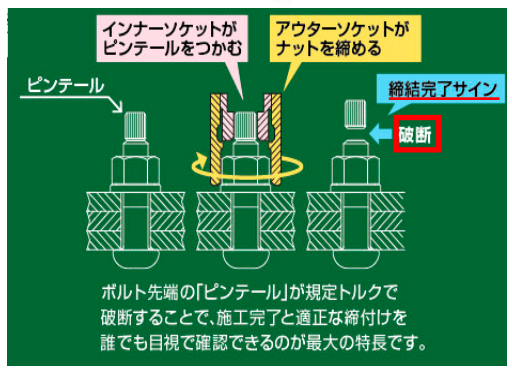
⑮鋼製枠施工完了

鋼製枠スリットの部材の組立の接合はボルトとナットなんですが、、、少し特殊なんです。

日本のような地震多発国において、ボルトの緩みやズレによる構造劣化を防ぐため、外力に対して優れた耐性を持つ**高力ボルト摩擦接合**では、ボルトを強く締め付けることによって軸力を導入し、接合する部材同士を強く押し付けます。このとき部材間に生じる摩擦力を利用して、荷重を伝達するのが特徴です。



当現場では「トルシア形高力ボルト」を使用しております。ボルト先端に「ピンテール」と呼ばれる部分が設けられています。専用レンチでナットを締め付けると、所定の締付け状態で破断溝に規定のトルクが作用し、**ピンテールが破断**します。ピンテールの破断トルクやボルトセットの特性を管理することで、適正なボルト張力を導入できるよう設計されています。また、ピンテールの破断を**目視で確認**できるため、締付け完了を確認しやすいことも特徴です。



連絡先

受注者
万六建設株式会社
現場代理人　金谷晃一
監理技術者　浅沼優司
担当技術者　佐藤　仁
TEL　0187-43-1554

発注者
東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
秋田駒ヶ岳山系砂防出張所
TEL　0187-46-2681